



稲沢市議会議員  
**おかの つぎお**  
**岡野 次男**

- ◆週1回、駅にて会報配りや挨拶活動
- ◆日曜日の午前8時より地域清掃(雨天中止)、週1回、スクールガード(やれる時だけでOK。仲間募集中!!)

E-mail : okano.tsugio@ab.auone-net.jp

### いなざわクイズ

答えは最終ページ

「いな活」という言葉をご存知ですか？  
 何の活動でしょうか？

### 第4回活動報告会を開催！

- ・日時：2025年2月2日(日) 午前10時～11時
- ・場所：下津市民センター

### ■ごあいさつ

こちらにメールを送信ください。月報をメール配信します

気軽にお越しください

今年巳年。議員生活2期5年目を迎えています。私にとって一番重要な日々の地道な活動を継続すると共に、「変革」の年にしていきます。例えば、駅頭の会報配りの際は、使用した場所のゴミ拾いをして”来た時よりも美しく”して帰ります。公式HPを立上げて、皆様への情報発信を強化していきます。小さい規模ですが、まちの中に花を植え、育てる活動を開始します。皆様も新たな事に取り組んでみませんか。人生が豊かになると信じて。

公式LINE



### ■2024年12月議会および活動報告

スマホで読み取ってお友だち登録をお願いいたします

#### 1. 2024年12月議会

※市役所に行かなくてもマイナンバーカードを使ってコンビニで証明書類が発行できます。  
 しかも窓口より安い！

証明書類	窓口料金(通常)	コンビニ料金(特別)	
		2024年3月～	2025年3月～
戸籍全部	450円	100円	350円
住民票	300円		200円
戸籍附票	300円		200円
印鑑登録証明	200円		100円

コンビニ料金100円引き！

#### 2. 自主防災会の活動

※下津地区まちづくり防災委員会より

##### (1) 阪神淡路大震災からの学び

- ・共助活動の主体は自主防災会ではなく近隣住民
- ・問題点は「単独行動」で道具がなく「素手」で対応
- ※自主防災会には「道具」がある！
- ※「協力者＝人」は一時避難場所にいる！

##### (2) 自主防災会の真の役割

- ・災害直後から機能し始める「近隣住民による共助」を支援すること
- ・そのために「人」と「道具」が揃う仕組みを「平時」に作っておく
- ・その方法は「一時避難場所」に道具を置き、誰もが使えるようにする。それだけ！！

ダイヤル式の鍵にするなど！



1. 「子育て・教育は稲沢で！」について

(1) 子育て支援 ～おむつ用品等購入応援券～

①事業概要

- ・保育園に通っていない児童に対して、月額2千円、3年間交付(総額72千円)
- ・昨年のクーポン利用率は96%、未利用額177万円
- ・本年10月より紙クーポンから”いなPAY”に切替

②紙クーポンの経費(2023年度実績)

- ・経費: 紙クーポンの場合、年222万円  
印刷製本、簡易書留、封入封緘作業料など
- ・事務: 毎月、店舗から請求される1枚500円の紙クーポン約1万枚の確認作業など

③デジタルクーポン”いなPAY”の経費(2025年度見込)

- ・経費: デジタルクーポンの場合、年600万円程度  
デジタル商品券事業委託料(手数料)
- ・市民: スマホ一つで決済  
残額管理、店舗数の増加などの利便性向上
- ・店舗: レジ会計や請求時の手間が簡素化
- ・職員: 紙クーポンの確認作業などの負担軽減やアプリを通じた情報発信によるサービス向上

紙クーポンは事務負担大きい!

デジタル化のメリット大きい!

市民・店舗等手間簡素化!

稲沢の魅力発信・広報力の強化が必要!!



(2) 教育 ～セーフティ・プラスワン事業～

①事業概要

- ・低学年児童が6限まで学校で過ごし、様々な学習活動に取り組むと共に、全校一斉下校することで下校時の安全性を高める事業
- ・予算: 32百万円。24名の非常勤講師を配置

②一斉下校にならないケース

高学年児童が月に1回ずつ、委員会・クラブ活動に取り組んでいるため、月に2回程度は、高学年を除いて一斉下校



(3) 教育 ～誰一人取り残されない学びの保障～

①特別支援教育支援員が充実

日常生活の介助や学習活動上のサポートを行う特別支援教育支援員を市独自で79名配置

②日本語初期指導教室を開始

- ・ポルトガル語、タガログ語、ベトナム語、中国語、韓国語、スペイン語、英語を母国語とする児童生徒への日本語指導
- ・1回45分で合計20回分の指導を行う



来た時よりも美しく!

## 2. 地域協働による美化活動

### (1) さわやか隊の活動

- ・「稲沢市快適で住みよいまちづくり条例」の推進を図るため、生活環境の保全と美化の促進を啓発
- ・活動の実態は見守り活動をしながらか清掃活動を実施
- ・現在、171団体2,294名⇒減少傾向

【提案】報告は「いなレポ」を活用！

### (2) アダプトプログラムの活動

- ・アダプト(ADOPT)とは英語で「養子にする」の意味
- ・一定区画の公共の場所を養子にみため、清掃美化を行い、行政が支援する制度
- ・現在、23団体、230名⇒横ばい

- 【提案①】報告は「いなレポ」を活用(同上)！
- 【提案②】1団体上限10万円の助成金活用！仲間を増やすために助成金を活用！

助成制度こちら↓



### (3) 花を育てる活動

道路上にプランター等を設置することは可能だが、道路管理者等からの道路占用・使用許可が必要

【提案】花を植え、育てる活動を開始する！小さい規模からですが。。。

## 3. 公園等の整備と維持管理

### (1) 稲沢公園の再整備(リニューアル)

園内の緑の量を抑えることや、新たなエントランス空間の設定、バリアフリー化の推進、隣接する荻須記念美術館や三宅川とのさらなる調和、新たなイベントスペースや遊び場の設置などに主眼を置いて、現在検討中

【提案】公園に対する需要は多様であるため、傍聴者を入れた審議会が望ましい！

### (2) 稲沢駅東口のムクドリ対策

- ・昨年度から街路樹の剪定と忌避剤の塗布を実施
- ・今年度は樹枝にヘビのウロコを模した「鳥よけフィルム」を取付けたが、いまだ一時的な効果に止まる
- ・来年度はLED投光器で光を照射する方法も検討

【提案】専門家より情報収集し、翌年度に備えること！

美しい環境を明日へ  
公益社団法人食品容器環境美化協会

## 2024年度 アダプト・プログラム助成制度

活動団体対象

市民と行政の協働によるまち美化活動を応援します

**助成コース**

- ①助成金コース  
総額 **250**万円(予定)
- ②清掃グッズコース  
合計 **160**セット(予定)  
(800人分)

募集締め切り **2024年6月12日(水)**  
(当日消印有効)

趣旨・目的  
貴団は、その設立以来約50年にわたりゴミ捨て防止、散乱防止に取り組み、アダプトプログラムの普及推進をしています。  
現在では海洋ごみ問題が大きく取り上げられていますが、海洋ごみの影響が陸域由来とも露われる中、海岸・海浜、河川流域だけでなく、道路、公園、緑地等すべての場所で行われるアダプト活動の重要性が改めて認識されています。  
このような状況を踏まえ本年度もアダプト・プログラム活動団体を支援するため、「アダプト・プログラム助成制度」を実施します。  
本助成制度ではアダプト活動の多様性に対応し、また自治体、活動団体からの要望を踏まえ、助成金コース・清掃グッズコースの2コースを設定しています。  
この助成を通じアダプト活動の輪が一層広がり、地域の環境美化や海ごみ問題の解決に資することを期待しています。  
アダプト・プログラムに参加、熱心に活動されている団体の皆様のご応募をお待ちしております。

詳しくは次のページをご覧ください。



ここに鉢植えを置いて花を育てたい！



ムクドリの大群





隣地の除草・樹木撤去

樹木繁茂



通学路標識の交換

標識劣化



カラー舗装施工

地域要望



カラー舗装施工

地域要望



破損コーンの撤去



掲示物の乱れ直し



穴ぼこ補修



LED照明設置

三菱電機の東  
ライトアップ事業



LED照明設置

なごみ公園の西  
ライトアップ事業



LED照明設置

自動車学校の東  
ライトアップ事業

■その他



2024年12月調査の統計	最新実績	前月比
稲沢市人口数(12/1実績)	132,964	△58人
稲沢市世帯数(12/1実績)	57,190	+52世帯
マイナンバーカード取得率 (11月末実績)	全国	76.3% +0.6%
	愛知県	76.7% +0.8%
	稲沢市	78.0% +0.6%
コミュニティバス一人当たり市負担額 (10月実績)	401円	+14円

Instagram

@OKANO\_TSUGIO

政治活動  
Facebook

<https://www.facebook.com/Okano.Tsugio>

<https://www.facebook.com/Okano.Tsugio>

一般質問動画

同僚次男 一般質問 同僚次男 一般質問

同僚次男 一般質問 同僚次男 一般質問

カイズのこたえ

「いな活」とは部活動指導員による休日の中学校の部活動の名称です。現在、部活動指導員の数は17名ですが、100名規模に拡大する計画です。中学校の休日部活動の地域移行については引き続き、注視してまいります。